

A.日時： 2023 年 12 月 11 日（月） 15 時 00 分～18 時 30 時

B.場所： 建築会館および ZOOM によるオンライン会議

C.メンバー（下線は欠席者）：

（会長）高田毅士

（副会長）東 貞成、中村いずみ、年縄 巧

（担当理事）小林実央、高橋郁夫、山田岳峰、前川 晃、入江さやか、多幾山法子、皆川佳祐、阿部慶太、向井洋一、楠 浩一、中嶋唯貴、井上和真、高瀬裕也、小檜山雅之

（監事）永野正行、室野剛隆

オブザーバ出席：戸田薫子事務局長

D.議題および提出資料：

### 報告事項

- |                                       |          |
|---------------------------------------|----------|
| 1) 第 66 回理事会議事録（案）の確認（高橋理事）           | 資料 67-01 |
| 2) 第 24 回正副会長会議報告（小林理事）               | 資料 67-02 |
| 3) 会務報告（小林理事）                         | 資料 67-03 |
| 4) 会計報告（山田理事）                         | 資料 67-04 |
| 5) 広報部会からの報告（入江理事）                    | 資料 67-05 |
| 6) 情報コミュニケーション委員会からの報告（多幾山理事）         | 資料 67-06 |
| 7) 会誌編集委員会からの報告（皆川理事）                 | 資料 67-07 |
| 8) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（阿部理事）         | 資料 67-08 |
| 9) 論文集編集委員会からの報告（向井理事）                | 資料 67-09 |
| 10) 事業企画委員会（企画）からの報告（井上理事）            | 資料 67-10 |
| 11) 16JEES 運営委員会からの報告（中嶋理事）           | 資料 67-11 |
| 12) 2024 年度大会に関する報告（中嶋理事）             | （報告なし）   |
| 13) 将来構想委員会からの報告（東副会長）                | 資料無し     |
| 14) 日本地震学会・日本地震工学会共催一般公開セミナーの報告（東副会長） | 資料 67-13 |

### 議案

- |                               |          |
|-------------------------------|----------|
| 第 1 号 入退会者（高橋理事）              | 資料 67-14 |
| 第 2 号 委員会（事業企画委員会）委員の委嘱（小林理事） | 資料 67-15 |
| 第 3 号 共催・後援・協賛等（高橋理事）         | 資料 67-16 |

### 懇談事項

- |                                    |          |
|------------------------------------|----------|
| 1) 大崎賞について（高橋理事）                   | 資料 67-17 |
| 2) 論文関連業務担当事務員の契約形態について（向井理事・小林理事） | 資料 67-18 |
| 3) 功績賞、功労賞、名誉会員の候補者について（小林理事）      | 資料 67-19 |
| 4) 予算流用、補正予算について（山田理事）             | 資料 67-23 |
| 5) 名誉会員の会費の支払いについて（高橋理事）           | 資料 67-24 |
| 6) 年次大会梗概集のアーカイブ化について（小林理事）        | 資料 67-25 |
| 7) 会員名簿の閲覧仕様について（高橋理事）             | 資料 67-26 |

- |  |          |
|--|----------|
| 8) 2023 年度活動報告、2024 年度活動計画・予算案の作成について<br>(小林理事・高橋理事) | 資料 67-20 |
| 9) 次期理事会の体制について (小林理事)                               | 資料 67-21 |
| 10) スペシャルアドバイザーについて (高橋理事)                           | 資料 67-22 |

## 議題

**報告事項** (実際の報告順位は、1), 2), 3), 4), 5), 6), 7), 9), 8), 13), 14), 11), 10)。12)は報告なし)

- 1) 第 66 回理事会議事録(案)の確認(高橋理事)
  - ・高橋理事より、資料 67-01 に基づいて、第 66 回理事会議事録案の説明がなされた。
  - ・入江理事より、p3 の報告事項 4)の「内閣府はきちんとした倶楽部がないため」から「内閣府はきちんとした記者クラブがないため」への修正依頼があった。
  - ・高田会長より、p7 の次回予定の 12 月 11 日が金曜日になっているとの指摘があった。
  - ・上記の箇所を修正した上で、第 66 回の議事録案は議事録として承認された。
- 2) 第 24 回正副会長会議報告(小林理事)
  - ・小林理事より、資料 67-02 に基づいて、第 24 回正副会長会議(第 67 回理事会に向けての事前協議)の報告がなされた。修正意見等は出されなかった。
- 3) 会務報告(小林理事)
  - ・小林理事より、資料 67-03 に基づいて、理事会に関連した内容にハイライトして前回理事会以降の会務報告がなされた。追加項目等は出されなかった。
- 4) 会計報告(山田理事)
  - ・山田理事より、資料 67-04 に基づいて、各委員会、各研究委員会の会計報告がなされた。今年度の事業活動の収入予算額 3,860 万円に対して 10 月実績 3,571 万円、支出予算額 4,317 万円に対して 10 月実績 1,863 万円であることが報告された。
- 5) 広報部会からの報告(入江理事)
  - ・入江理事より、資料 67-05 に基づいて、広報部会からの報告がなされた。16JEES に関して、11 月に 2 回のプレスリリースを行ったこと、会期中および会期後の具体的なメディア対応や取材はすべて情報取材であったこと、メディア対応の反省事項等について説明があった。
  - ・高田会長より、16JEES におけるメディアの懇親会参加への期待について質問があり、入江理事より、人脈形成が主な目的であり、取材が目的ではないと考えられるとの説明があった。
- 6) 情報コミュニケーション委員会からの報告(多幾山理事)
  - ・多幾山理事より、資料 67-06 に基づいて、情報コミュニケーション委員会の活動について報告がなされた。11,12 月号の JEES News の発行、12 月末発行の NEWSLETTER37 号 (Vol. 12, No. 3) の特集テーマや学生たちの座談会、若者ページのロゴの作成、今後の活動予定、メールニュース巻頭言執筆、会員システム・サーバー等について説明があった。
- 7) 会誌編集委員会からの報告(皆川理事)
  - ・皆川理事より、資料 67-07 に基づいて、会誌編集委員会の活動について報告がなされた。50 号の発行(10 月)、51 号(2 月末発行予定)の特集では「関東大震災から 100 年を経て考える、これからの地震工学・地震防災」(仮)となる予定であること、また、52 号(6 月末発行予定)は特集案 1「地震工学の未来～若手会員から学ぶ～(仮)」または、特集案 2「耐震設計を横断的に考える(仮)」であることなどの説明があった。
  - ・入江理事より、先週金曜日の 16JEES のプレスリリースと併せて、JAE 学会誌を記者クラブ 3 箇所に配布を行ったことの追加報告がなされた。

- ・高橋理事より、オンラインでの会誌の会員外への公開について、他の学会の状況について質問がなされ、皆川理事より、他学会では1年間は非公開だったり（日本建築学会、土木学会など）、最初の部分だけ閲覧できるような形だったり（機械学会）するとの説明があった。
- 8) 国際委員会、地震災害対応委員会からの報告（阿部理事、代理で小林理事）
- ・小林理事より、資料 67-08 に基づいて、国際委員会、地震災害対応委員会の活動について報告がなされた。また、長岡技術科学大学の志賀先生からトルコ南部地震の調査報告書が提出され、これをもって調査費用を支払うことが報告された。
  - ・高田会長より、メキシコ地震学会長からの依頼で講演に行ってもらった田尻先生から講演を無事行い多くの質問があつて反響が大きかったとの報告を受けたことが紹介された。
- 9) 論文集編集委員会からの報告（向井理事）
- ・向井理事より、資料 67-09 に基づいて、論文集編集委員会の活動について報告がなされた。Vol.23 NO.5 の刊行が完了したこと（11/30）、査読状況としては、通常号が9編、英文号が3編進行中であり、年間約27編ペース（英文含む）であること、今後の刊行予定、論文賞の推薦および論文奨励賞の選考について報告がなされた。
- 10) 事業企画委員会（企画）からの報告（井上理事）
- ・井上理事より、資料 67-10 に基づいて、事業企画委員会の活動について報告がなされた。淑徳与野高校への訪問、Eーディフェンス見学会（参加者：36名）、第28回震災対策技術展への出展、横浜サイエンスフロンティア校への出前授業（3/12/2024 予定）、地震工学分野におけるDXに関する講習会・研究会（案）の説明があった。
  - ・小林理事より、JAEのオリジナルのポスターを作りたいとの要望があり、井上理事から最新の事業のネタの写真に入れ替えて作成する旨の回答があった。
  - ・山田理事より、今年度予算の収入は73万円となっているが、現状は16万円であるが、この先、収入が入ってくるようなイベントはあるかとの質問に対して、井上理事から、昨年度立てた計画であり、実際にお金が入ってくるのは会計年度が変わる5月になるのでそのようなことになっており、今後、考えなければならないという回答があった。また、井上理事からは、収支が比較的バランスする講習会などと違って、横浜サイエンスフロンティア校の出前授業のようなものは、収支は赤字になるが、将来を考えた場合に我々としてやりたいイベントなので、このようなイベントに対する方針ややり方については整理したいとの発言があった。
  - ・東副会長から、上記に関して、会計上は補正予算の組み直しになるかとの質問があり、戸田事務局長から、津野委員からの要請で交通費に反映させるとの回答があった。
- 11) 16JEES 運営委員会からの報告（小檜山理事）
- ・小檜山理事より、16JEES 運営委員会について報告がなされた。講演者は609名、聴講者は373名などで合計1093名の参加、論文数は612編であったこと、この中から集まった論文は16JEES 特集号で出版することなどの報告がなされた。また、審議事項として、16JEES 特集号論文集編集のための事務局職員1名の補充が必要になる可能性があるため、その方法も含めて審議をお願いしたい旨の説明があった。また、次回のJEESは委員長と幹事長が土木学会から選出されること、幹事学会は日本地震工学会で承認されていることの説明があった。
  - ・高田会長から、事務局員の増員に関連して編集編数について質問がなされ、小檜山理事から、過去の統計によると発表論文の1/3程度の200編ほどの提出が見込まれるとの回答があった。また、現在、論文編集にScholarOneというシステムを使っているが、採択までの作業が必要であることの説明があった。
  - ・山田理事から、事務局員の増員の予算規模に関する質問がなされ、小檜山理事から、本件は16JEES

の事業ではなく論文集の出版事業となるため予算化されていないこと、事務局員の費用は投稿費用が原資になることなどの説明があった。また、小林理事から、今年度の収入の中から補正予算として支出していくことになるとの説明があった。

- ・小檜山理事から、16JEES の論文の DVD 作成に関する説明がなされた。
- ・高田会長から、JAEE が JEES の幹事学会であり負担が大きいので、その辺の議論はないのかとの質問がなされ、小檜山理事から、幹事会の中でもその件についての話は出ていて、持ち回りにした方が、当事者意識が高まり、みんなで作り上げるという意識が芽生えるのではないかという意見が出ていたとの回答があった。
- ・小檜山理事より、今回はインボイス制度について開催間際になって気づいて慌てたところがあったので、次回は消費税の扱い、会費設定も含めて考えなければならないとの発言があった。また、委員の負担が大きいとの前回の反省があつて、運営をアウトソーシングしたことが報告された。
- ・高橋理事より、エクスカージョンの実施状況について質問があり、小檜山理事より若干の赤字になったことへの回答があった。(理事会の後日、小檜山理事から、メールにて、当初は学生の参加費を特定資産からの支出する予定であったが 16JEES の事業予算に組み込んだために赤字になったとの補足の説明があった。)
- ・16JEES 論文特集号を出版するための事務局職員の求人、16JEES の論文集の頒布価格に関して、理事会で承認された。

#### 12) 2024 年度大会に関する報告 (中嶋理事)

(中嶋理事が欠席のため、報告はなし)

#### 13) 将来構想委員会からの報告 (東副会長)

- ・東副会長より、将来構想委員会の活動について報告がなされた。10/23 に「日本地震工学会の将来に向けた提案」報告書について会員向けにホームページでアナウンスを実施したこと、会誌の次々号で津野 WG 主査に活動報告をしてもらうことなどの説明があった。次年度計画書については、各委員会から将来構想に関する検討状況または予定について追記してもらうことに関して協力依頼があった。
- ・高田会長から、将来構想委員会からの活動を行うとなると仕事が増える懸念があるとの意見が出された。これに対して、東副会長から、各委員会ですることとできないことを検討して欲しい旨の回答があった。

#### 14) 日本地震学会・日本地震工学会共催一般公開セミナーの報告 (東副会長)

- ・東副会長より、日本地震学会・日本地震工学会共催一般公開セミナーについて報告がなされた。当日の参加者数は 121 名、事前登録が 102 名、当日の 19 名であった、PD に参加した横浜サイエンスフロンティア高校とは出前授業の可能性について話し合ったこと、今後もこのような行事で日本地震学会と協力して関係を継続することを先方の担当者と話し合ったことなどの報告があった。

### **議案**

#### 第 1 号 入退会者 (高橋理事)

- ・高橋理事より、資料 67-14 に基づいて、入退会者の報告がなされ、承認された。
- ・改めて学会の入退会のルールを、他学会を参考にして作成し、次回に理事会に提案することになった。

#### 第 2 号 委員会 (事業企画委員会) 委員の委嘱 (小林理事)

- ・小林理事より、資料 67-15 に基づいて、事業企画委員会で森脇美沙氏 (鉄道総合研究所) を追加で委員委嘱する予定であることの説明がなされ、承認された。

### 第3号 共催・後援・協賛等（高橋理事）

- ・高橋理事より、資料 67-16 に基づいて、協賛（1 件）の継続の名義使用依頼についてメール審議で承認した旨の説明があり、本件は改めて理事会として承認された。

### 懇談事項

#### 1) 大崎賞について（高橋理事）

- ・高橋理事より、資料 67-17 に基づいて、大崎順彦賞について具体的な検討を進めるための組織について議論して欲しい旨の説明がなされた。理事会の表彰委員会の下に「大崎順彦賞選考委員会」を設置し、そのメンバーは功績賞選考委員会と同様のメンバー（会長、副会長、総務理事、会員理事）とすること、選考委員会の下に「大崎順彦賞設立準備 WG」を設置するとの提案がなされた。
- ・高田会長より、次回の理事会で表彰規定等を承認してもらうのはスケジュールとして厳しいのではないかとの質問がなされ、高橋理事からは、確かに厳しいが、WG で細部を詰めることができればそれを表彰規定、細則等に反映させるのは難しくはないので、スピード感を持って実施したいとの回答がなされた。
- ・上記の組織（選考委員会、準備 WG）の設立に関して承認された。

#### 2) 論文関連業務担当事務員の契約形態について（向井理事・小林理事）

- ・小林理事より、資料 67-18 に基づいて、論文関連業務担当事務員の契約形態について説明がなされた。現行の直接雇用であると業務管理が難しいので、業務委託への転換もあり得るとの判断から懇談事項とした旨の説明がなされた。何らかの形で業務管理ができるならば今の直接雇用の形を継続する方が、現在の雇用されている事務員も安心して業務を行えるのではないかとの意見が示された。
- ・向井理事からは、インボイス制度で個人事業主になると仕事が続けられなくなる実態があり、現状の雇用形態を維持する必要があること、今後の新たな雇用の機会であれば、委託業務に移行する検討の余地はあること、現状は業務管理の点でやや問題があると理解していることなどの意見が出された。また、週単位等で勤務管理を委員長が行うようなやり方を総務と相談して行きたいとの話があった。
- ・小椋山理事からは、インボイス制度は被雇用者からはかなりの負担になるとの意見が出された。

#### 3) 功績賞、功労賞、名誉会員の候補者について（小林理事）

- ・小林理事より、資料 67-19 に基づいて、功績賞、功労賞についての説明がなされた（原則として名誉会員は2年に一度、選考を行うので今年度の選考は行わない）。功績賞の候補者は正副会長会議では福和元会長と清野前会長に決まっているが、1月までは募集を受け付け、3月の理事会で正式される予定であること、今年の功績賞については京都大学の後藤先生から関西地震観測研究協議会を推薦したいとの話があり、候補に加えることにしたこと、功労賞は歴代の総務理事である西村氏を推薦したいことなどの説明がなされた。
- ・井上理事から、後藤先生は関係者であるが自己推薦は良いのかとの質問がなされ、小林理事から、選考の土俵に上げるのは良いのではないかとの回答が示された。
- ・山田理事より、前川理事も功績賞選考委員のメンバーであるとの指摘があり、資料の訂正を行うこととなった。
- ・功績賞、功労賞の候補者に関しては、理事会として上記の通り承認された。

#### 4) 予算流用、補正予算について（山田理事）

- ・山田理事より、資料 67-23 に基づいて、予算流用、補正予算についての説明がなされた。流用の

原則として、費目が同じ項目の中で組み替えを行い、流用額は差し引きゼロになること、流用で対応できないもの（例えば地震調査費など）は予算の組み替えが必要であること、16JEESは流用の域を超えるので補正を実施していることなどが説明された。

- ・戸田事務局長から、論文編集委員会の事務局員については、事業費支出の雑給支出から出されるのでメール審議にて承認してもらう必要があるとの説明があった。また、小林理事より、正副会長会議の前にメール審議が終わるようにしてほしいとの要望があった。
  - ・山田委員より、事業企画の収入についての繰越額については涌井先生と相談するとの説明があった。
- 5) 名誉会員の会費の支払いについて（高橋理事）
- ・高橋理事より、資料 67-24 に基づいて、名誉会員の会費の支払いについて説明がなされた。名誉会員の会費の支払いに関する経緯、現状のルール、最近発生した事案等について説明がなされた。
  - ・戸田事務局長より、会費の支払いが1年間滞ると会員資格は失われるが、その際には事務局からコンタクトを取るようになっているとの説明があった。
  - ・今後は、（正）会員と名誉会員は独立したものと考え、名誉会員は、会員でなくなった後にもその称号は継続するが、会員としての権利は消失し、退会届が提出された年度の会費は支払う義務があることを確認した。
  - ・小林理事から、事案が発生した場合には、得られた情報から総合的に判断していくような形になるだろうとの意見が出された。
- 6) 年次大会梗概集のアーカイブ化について（小林理事）
- ・小林理事から、資料 67-25 に基づいて、年次大会梗概集のアーカイブ化について説明がなされた。情報コミュニケーション委員会が主導して、日本地震工学会大会梗概集 2004 年～2006 年をいずれ電子化すること、2007 年以降の CD-ROM に収められたものはアーカイブ資料閲覧ページへの格納することの提案がなされ、承認された。
- 7) 会員名簿の閲覧仕様について（高橋理事）
- ・高橋理事から、資料 67-26 に基づいて、会員名簿の閲覧仕様について説明がなされた。現在は会員名簿（名、所属、専門分野）をホームページで公開してきたが、個人情報保護の観点から、今後、名簿の公開の可否、公開する場合の方法について議論をお願いしたいとの話があった。
  - ・戸田事務局長から、名簿の公開は公益社団法人としての条件になっているとの説明があった。
  - ・他の学会の名簿公開の動向、会員名簿の公開のメリットなどについて議論した結果、PDF ファイルにパスワードをかけて公開する（ダウンロード可）ことになった。
  - ・ファイルのパスワードの周知方法に関しては、事務局の懸案事項とすることにした。（理事会後、JAEE ホームページの会員専用サイト内にてパスワードの案内がなされた。）
- 8) 2023 年度活動報告、2024 年度活動計画・予算案の作成について（小林理事・高橋理事）
- ・小林理事から、資料 67-20 に基づいて、2023 年度活動報告、2024 年度活動計画・予算案の作成について説明がなされた。事業計画（活動計画）案提出のスケジュール（12 月中に各部会・委員会に資料を配付し、1 月 19 日（金）に提出〆切）、備考欄を改定して将来構想委員会からの提言に対するアクションの記載すること等の説明がなされた。
  - ・資料 67-20 に記載された内容に関して了承された。
- 9) 次期理事会の体制について（小林理事）
- ・小林理事から、資料 67-21 に基づいて、次期理事会の体制について説明がなされた。退任の理事は後任の理事（候補）を選任、第 1 副会長と総務理事は会長が選任し、1 月末までに総務担当・事務局に連絡してほしい旨の説明があった。

10) スペシャルアドバイザーについて（高橋理事）

- ・高橋理事から、資料 67-22 に基づいて、スペシャルアドバイザーについて説明がなされた。當麻純一（公益財団法人地震予知総合研究振興会）のスペシャルアドバイザーの申請について説明があり、承認された。

その他

- ・小林理事から、日本地震学会との合同の年次大会について、日本地震学会の理事会の中でも議題に挙げられていることの報告があった。2026 年は 17JEES があるため、合同開催は難しいかも知れないとの説明があった。

次回予定：（第 68 回理事会）：2024 年 3 月 18 日（月）16 時～19 時

以上 この議事録が正確であることを証します。

令和 年 月 日

議長 高田 毅 士